

車、左右の車窓からは山火事が迫ってくる映像も報道されていました。

この熱波、北半球を吹く編成風（Jet Stream）が例年よりも北に大きく蛇行した結果、アメリカ・サハラ砂漠の熱気が一気に英国上空まで吹き込んだためとか。ロンドンの例年の7月の気温は28°C程度なので、将に異常気象！

家庭にクーラーのないヨーロッパでは、大変な状況と言えます。

このような熱波の中、過去最高気温を記録したロンドンから届いたトピックスをいくつか紹介します。（画像はBBC 他、Internet から）

1. こんな光景観たことない！

バッキンガム宮殿の衛兵、真夏でも黒い熊毛の黒い帽子をかぶっています。例年夏場には暑さで転倒する事故が起きるとのことですが、今年の異常な熱波で、普段では見ることのできない光景が…。

身動きできない立哨中の衛兵に近づいてきた二人の衛兵、その手に持っているトレイには“Tea Cup”が、水分補給なのでしょうが、カップの中身紅茶？流石、英国です！それでもカップ1杯の水分では到底足りず、見かねた警察官がペットボトルで給水。ご苦労様です！



2. 橋も酷暑には耐えられない！

135年前に架けられたテムズ川最古の吊り橋（Hammersmith Bridge）、橋を支えているチェーンの保護のために反射シートで覆われた。チェーンの温度が規定温度以上になると、橋は通行止めになるとのことです。



3. ロンドン郊外のルートン空港、滑走路が溶けてしまって空港閉鎖に。
滑走路のパッチあて、これで大丈夫かしら？



ロンドン市内でも電車のレール変形してしまい、運転停止が続出、ダイヤが大混乱。
しかもロンドンの地下鉄にはエアコンはついていない！ 日中の移動は命がけです！

4. 英国での最高気温を記録した今週、BBC が推奨していた“熱波対策”とは…

- ① 夜間に窓を開けて冷気を室内に入れる
- ② 窓を開けて室内の空気の循環を良くする
- ③ 日が昇る前に窓のカーテンを閉めて日光が入るのを避ける
- ④ 扇風機を使用する
- ⑤ 長時間の料理、発熱電気製品の使用をやめる、
- ⑥ 公共機関、スポーツセンター、図書館等涼しい場所に移動

2018年8月の熱波襲来時には、この他に“ビールを飲むこと”が推奨されていたとか、やはり英国か！

参考までに、英国での最高気温を記録した18、19日の両日に娘が取った行動とは、

- ① ホームワークに徹し、一切外出はしない
- ② 一晩中窓を開放して、室内を冷却
- ③ 日の出と共に窓とカーテンを閉めて、冷気を逃がさない
- ④ 扇風機の前に保冷剤を置いて、少しでも涼しい風を
- ⑤ 料理は夜間に行い、日中は料理をしない
- ⑥ 足元のバケツに水を入れて足を漬ける

恐怖の19日が明けて20日の朝には小雨が降って気温も23°Cまで下がったとのこと。

「夏の日狂想」は何とか2昼夜の出来事だったようです。

一方、ヨーロッパ大陸の熱波はまだ継続している様、この時期にヨーロッパへ旅行した人には気の毒なことでした。

一説では、今年の北半球の偏西風は例年に比べて蛇行が大きく、アジアでも中国、インド、そして、日本にも熱波来週の可能性が高いとか。気を付けましょう。

因みに、台湾は温暖な気候なので、ヨーロッパとは逆で室内暖房が普及していませんでした。20年前の台北では、真冬の会社事務所では皆さんオーバーを着こんで仕事をしていました。所変われば品変わる、世界は広いですね。まだまだ続く日本の夏、暑さに負けずに過ごしましょう！